

心の和がれ No.51

(2014/11～12)

p 01～01	文化祭近づく	p 02～02	町内会クリーン作戦
p 01～01	人は城・・・	p 03～03	マイカー脱輪
p 01～02	地域の文化祭	p 03～03	現場に入っこそ
p 02～02	散歩の再開	p 03～03	幸せの枝
p 02～02	スケジュール杯		

2014.11.02

・文化祭近づく

年矢の過ぎるのが早く、晩秋初冬、冬になって日も浅く、寒さもさほど感じませんが、日ざしに風の音、雲の色に冬のけはいが感じられます。明日は寒さの予報で寒風になれないために体感的には厳しく感じられましょう。しかし、温暖化が進み近ごろ内地の11月は、それほど寒くはない。◆冬山は白い布をまとい山眠る感じです。こがらしという風は、もとは初冬から吹きはじめて木を枯らし、落ち葉を誘う風の事をいった。今では冬じゅう吹く風に使われている。これからは一雨ごとに冬の訪れを教えてください。◆今夜は、地域の文化祭のプログラムの準備で出演時間を調整する会議があります。我がサークル「花結の会」は”越中おわら節”を予定しており吾輩も出演予定で練習に懸命である。女性11名・男性1名で女性群から叱咤激励を頂戴する毎日です。

2014.11.09

・人は城・・・

行事が多い月である。パソコン教室、映画会、文化祭、日帰り研修旅行、民生児童委員研修会と、そして老人会の創立50周年記念事業で参加者の促進である。地域活動に際して高齢者の健康と楽しい日々を過ごして頂くためには、どんな行事をすれば賛同し参加していただけるのか模索の日々である。◆組織の土台は「人」人の情熱、人の努力、人の団結、人の喜び、そして人への気配り心配りがあってこそ豊かな「絆」が生まれ、前進していくのであろう。人の喜びを求めて活動できることが、己の成長にも繋がることを、忘れまい。

2014.11.16

・地域の文化祭

文化祭の準備が14日事前準備・15日作品展示・16日演芸舞台と続く、役員は全員高齢者、足

腰の痛みを堪えながら、重い椅子の移動から作品展示や舞台の準備に大わらわ、怪我の無き事を祈るばかりである。◆しかし、地域活性化のため日ごろの芸術の成果を披露する場であり、準備に手落ちは許されない。拙生も「越中おわら節」を踊って参ります。

2014.11.23

・散歩の再開

空は澄みわたり心地よい冷たさである。石清水八幡宮まで朝の散歩を再開した約 9,000 歩、以前のような電燈を携帯しての早朝散歩でなく、朝食を済ませ消化のために最適の運動である。8 月～今日まで 3 ヶ月半の怠け休み、しかしこの間は多忙極まりなし仕事と活動に追われたが、言い訳に過ぎない。1 日 24 時間、強固な意志があれば可能であり、寄って楽な方を選ぶのが「怠け者」と言わざるを得ない。反省しきりである。◆賀状の準備を始めねばならない、例年のごとく喪中の通知も届きだした。12 月中旬にはお慰めの便りを出すが多くないことを祈る日々です。

2014.11.30

・スケジュール一杯

13 日から所用が多く 30 日の日誌も月曜日の夜にやっと入力。風邪もようやく回復傾向、”何事も気力だ”を持論に活動してきたが、少々無理が利かなくなったように感じる。12 月末で齢 76 まだまだ元気で頑張らなくては、と思う。12 月になると寒さも本格的になろう。我が庭も冬の気配がみられる、そこで一句詠んでみた「庭掃きて 出ではや風に 散る紅葉」昭幸。お粗末・・・

2014.12.07

・町内会クリーン作戦

風もなく快晴で軽作業には申し分ない日和となった。住民が街角や公園の美化に努める奉仕活動である。例年のごとく園児から小学生も参加する。「おはようございます」の挨拶言葉も絶やさない。「ありがとう」大人の行為に感謝の言葉を返す。「ありがとう」の言葉は、自分と周りの人との心をつなぎ、今朝の好天気のように晴れ晴れと心を豊かにしてくれる。◆子どもは親の行為の良い悪い全てを普通と認識する、故に親は生活態度には十分注意を払う必要がある。掃除を手伝う子ども達を見ていると、日々の生活が垣間見える。齢 90 近いご老人が、黙々と落ち葉を集め清掃する光景に、感謝を声に出して伝えよう。◆「ありがとう小父さん」と園児からニックネームを戴いた経験から、五文字の響きの心地よさは心を温かくしてくれる。これらの活動が住民との絆を深め、「たかが掃除、されど掃除」小事であるが大事なことであろう。

2014.12.17**・マイカーが脱輪**

多くの方々から日曜日のホームページが更新されていないが、どうした！！風邪！怪我！それとも入院などお尋ねを頂きました。当方の諸事繁多で早朝から夜間まで、活動を追うのではなく、追いまくられ年齢と共に所用をこなすのに「どんくさく」になりました。風邪は完治して至って健康でありますので、ご心配いただいたこと感謝いたします。◆昨日は雨脚激しく狭き道路で、駐車の際に側溝の蓋があるものと幅寄せしたが蓋の切れ目で脱輪、レッカー車を要請しました。お蔭で車両には損傷なし。つくづく実感、歳のためにはしたくないが注意力が衰えた「それは年寄りだ〜」。◆今日は風も強く気温も低く各地で雪の被害も、明日は積雪があるかもしれません、明日の活動を前倒しにして、朝から行動開始夕刻に帰宅したが、「寒いなかご苦労さん」の言葉に、笑顔の中には幸せがあり、寒空の中に笑顔が心の暖房になった。

2014.12.21**・現場に入ってこそ**

今年もいよいよ押し迫ってまいりました。学友も19日からヒューストン方面に外遊で来年1月2日に帰国です。

世界各国の人たちと語り学び多くの知識を吸収して帰国することでしょう。◆「百聞は一見に如かず」と言われるように。どんな人から聞いても書物で知識を得ても、自分の目で現場を見なければ本当のことは分からない。その国の文化に接して初めて知ることが多い。日常生活において、私たちが心得ねばならないのは、家庭や仕事などの悩み声に耳を傾け、励まし支えていく、当然打合せも大事だが、現場に足を運んでこそ課題も見え、自分自身もまた成長する。

2014.12.28**・幸せの枝**

インターネットに接続して13年、ホームページを開設して、かれこれ11年を迎える。年矢の過ぎゆくのが早いもので年齢も12月30日で満76歳となるが、数え歳なれば78歳で喜寿も過ぎ、杖朝いわゆる傘寿も目の前である。◆毎朝恒例の身だしなみに鏡に向かう。暖房がないので寒さを我慢して歯磨き、頭剃りとクリームで頭皮の手入れ、肺機能拡張の吸引を、オッと髭剃りも忘れまい皮膚のたるみをチェック、皮膚を引っ張ったり押さえたり「おもしろい！顔だな〜」いや！世界に一つしかないユニークな顔と捉えれば、満更でもない。体形は！背は高からず、体重は低からず、ウエストは細からずだ。◆親から授かった健康体と、結婚して45年いまだ喧嘩をした記憶がない。喜怒哀楽をストレートに表す拙生を支えてくれる、慈愛深き賢女の伴侶を得た。この二つの幸運の大枝があるからこそ、寒風の中にあっても、常に心にある暖炉を暖めてくれる幸せに感謝し、新年を迎えたい。

2014.11.~2014.12

E N D